

福島経済マンスリー

3月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

1. 2017年3月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さが続いているものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、百貨店・スーパーともに前年を下回り、合計では4カ月連続で前年比マイナスとなった。一方、乗用車新車登録台数は5カ月連続で前年を上回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が2カ月連続で前年を上回ったが、請負金額、保証金額がいずれも2カ月ぶりに前年を下回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が横ばいながら、床面積が5カ月ぶり、工事費予定額が2カ月ぶりに前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、復興特需を背景に高水準を維持してきたものの、今年に入り3カ月連続で前年を下回っている。内訳をみると、持家が2カ月ぶりに前年を上回った一方、貸家が3カ月連続、分譲が5カ月ぶりに前年を下回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比（季節調整値）が+0.4%、前年比（原指数）が△7.0%となった。業種別の前月比をみると、13業種で上昇し6業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比+0.03ポイント、原数値が前年同月比+0.06ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実人員は前年同月比△1.4%となった。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は2月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2016年10月	11 月	12 月	2017年1月	2 月	3 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	0.8	0.4	△ 1.3	△ 0.9	△ 3.4	△ 1.3
	乗用車新車登録台数	△ 0.7	3.9	12.8	3.0	1.9	13.0
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 6.8	△ 24.1	79.9	△ 4.9	80.6	△ 24.6
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	4.6	△ 52.5	△ 21.4	90.6	△ 35.2	151.5
住宅投資	新設住宅着工戸数	19.6	13.6	4.3	△ 15.3	△ 15.5	△ 19.4
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 6.3	0.0	△ 4.3	r △ 5.9	△ 7.0	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.02	0.00	△ 0.02	△ 0.01	0.05	0.06
	雇用保険受給者実人員	△ 2.7	△ 2.0	△ 3.9	△ 0.5	△ 3.2	△ 1.4

注1 鉱工業生産指数と有効求人倍率は原指数。Pは速報値、rは訂正值。

(2) 前月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2016年10月	11 月	12 月	2017年1月	2 月	3 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	8.6	△ 1.5	△ 25.4	△ 16.8	△ 11.3	11.7
	乗用車新車登録台数	△ 14.4	9.6	△ 5.6	3.9	13.4	61.5
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 19.0	△ 33.1	87.8	△ 31.4	△ 26.0	40.2
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	222.6	△ 72.2	24.0	77.4	△ 59.3	65.3
住宅投資	新設住宅着工戸数	20.2	△ 19.6	11.7	△ 37.6	16.1	3.6
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 1.7	3.3	△ 2.6	r 1.3	0.4	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.03	0.03	△ 0.03	0.03	0.01	0.03
	雇用保険受給者実人員	△ 5.4	△ 5.1	△ 3.7	2.0	△ 0.2	2.8

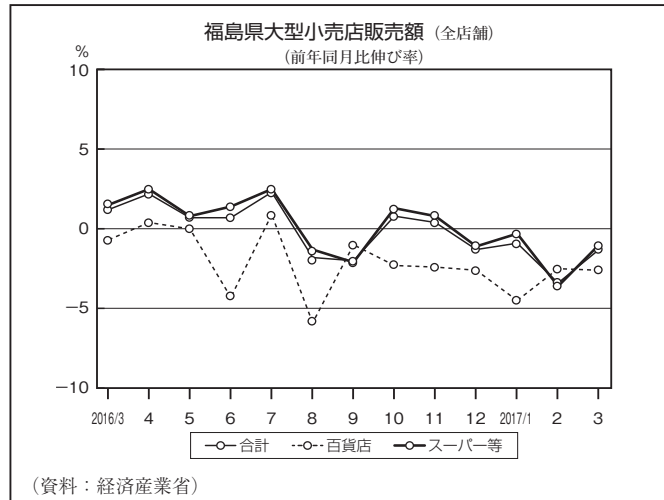
注2 鉱工業生産指数と有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

3. 県内経済動向

消費動向

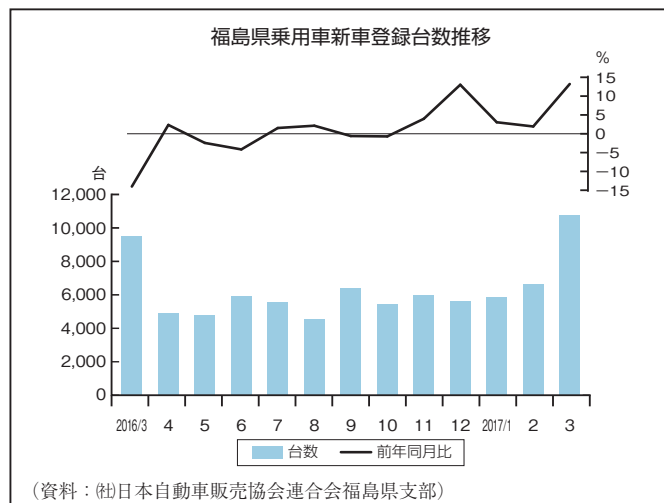
大型小売店：4カ月連続で前年比減

3月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で211億41百万円（前年同月比△1.3%）と4カ月連続で前年を下回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品、飲食料品とも前年を下回ったことなどから、合計では同△2.6%となった。また、スーパーも、衣料品、飲食料品がいずれも前年割れしたことから、合計では同△1.0%となった。



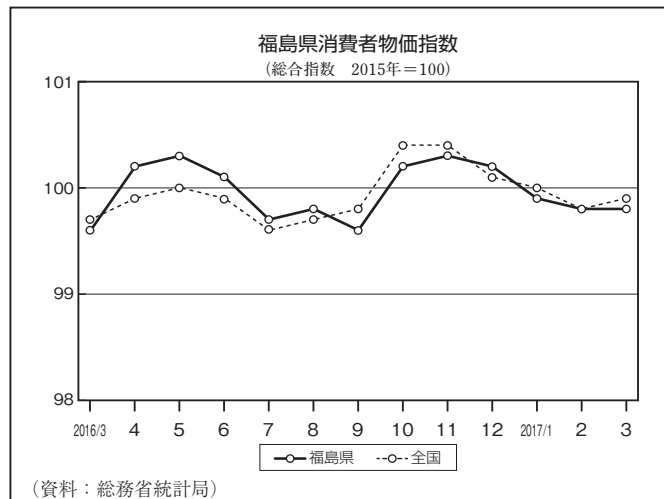
乗用車販売：5カ月連続で前年比増

3月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で10,725台（前年同月比+13.0%）となり、5カ月連続で前年を上回った。車種別で見ると、普通車が3,590台（同+15.1%）で2カ月連続、小型車が3,683台（同+22.2%）で5カ月連続、軽乗用車が3,452台（同+2.9%）で2カ月ぶりにそれぞれ前年を上回った。



消費者物価指数：前年比で上昇、前月比横ばい

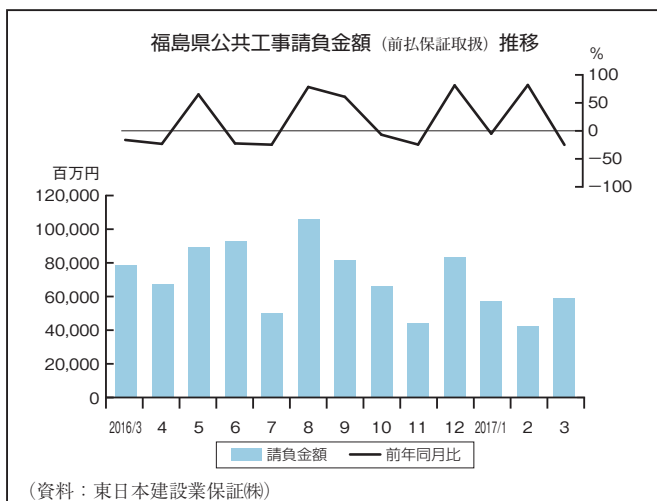
3月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）で見ると、99.8で前年同月比+0.2%、前月比±0%となった。費目別に前月比で見ると、「教養娯楽」が102.1（同+1.3%）など4費目で上昇したが、「家具・家事用品」が98.8（同△2.7%）など5費目で下降した。



公共投資

公共工事：請負金額は2カ月ぶりに前年比減

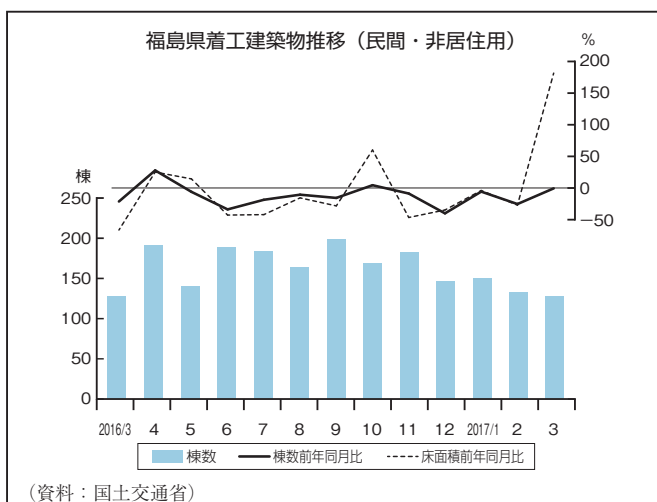
3月の公共工事前払保証取扱は、件数が458件（前年同月比+8.0%）と2カ月連続で前年を上回ったが、請負金額が595億64百万円（同△24.6%）、保証金額が325億91百万円（同△21.5%）と2カ月ぶりにそれぞれ前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が2カ月ぶりに前年比増

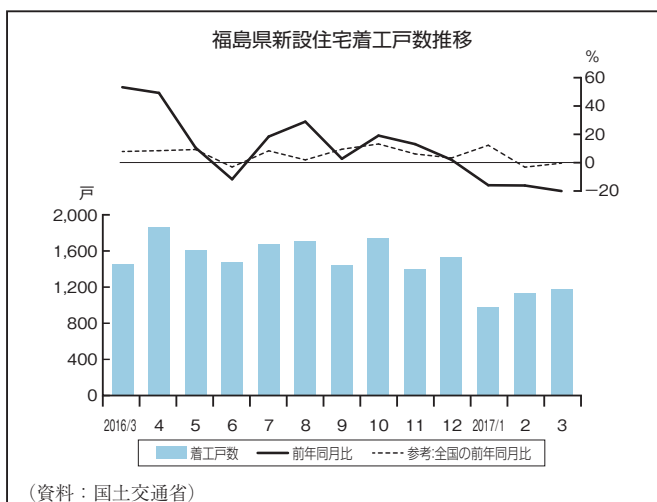
3月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が127棟（前年同月比±0%）で前年比横ばい、床面積が86,050㎡（同+180.9%）で5カ月ぶり、工事費予定額が150億30百万円（同+151.5%）で2カ月ぶりにそれぞれ前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：3カ月連続で前年比減

3月の県内新設住宅着工戸数は、1,173戸（前年同月比△19.4%）と3カ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」は508戸（同+4.3%）で2カ月ぶりに前年を上回った。一方、「貸家」は502戸（同△19.2%）で3カ月連続、「分譲」は162戸（同△31.6%）で5カ月ぶりにそれぞれ前年を下回った。

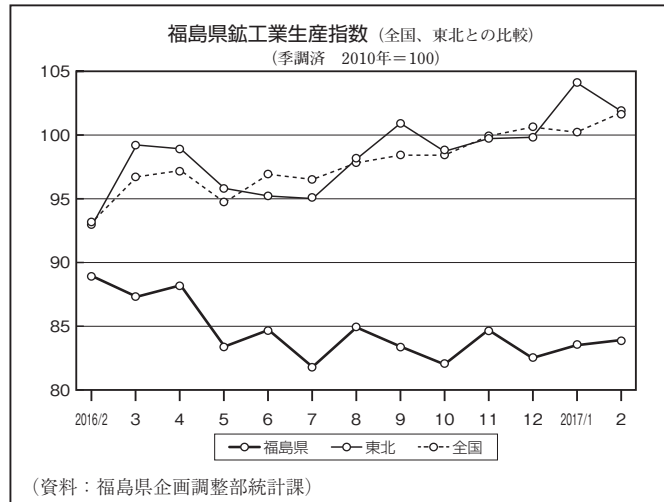


生産活動

※鉱工業生産指数は2月のデータ

鉱工業生産指数：前月比は上昇、前年比は下降

2月の鉱工業生産指数は、83.9（季節調整値）で前月比+0.4%と前月値を上回ったが、原指数が82.3で前年比△7.0%と前年値を下回った。業種別の季節調整値をみると、「電気機械工業」（前月比+14.1%）など13業種で上昇し、「はん用・生産用・業務用機械工業」（同△7.8%）など6業種で下降した。

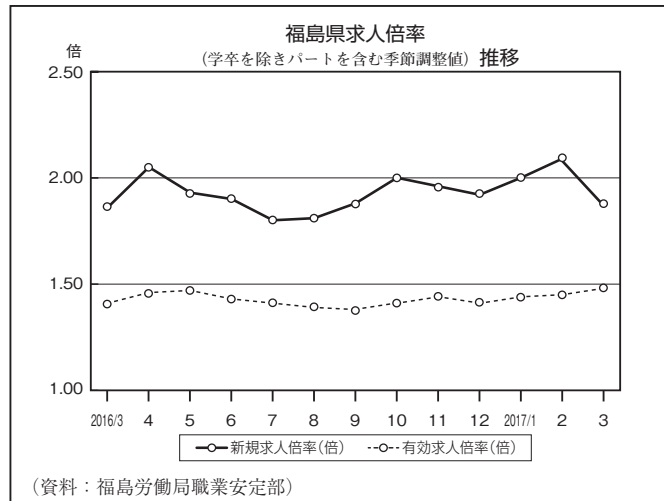


（資料：福島県企画調整部統計課）

雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前年比、前月比ともに上昇

3月の新規求人倍率は、季節調整値が1.88倍（前月比△0.21ポイント）、原数値が1.75倍（前年同月比+0.03ポイント）となった。また、3月の有効求人倍率は、季節調整値が1.48倍（前月比+0.03ポイント）、原数値が1.46倍（前年同月比+0.06ポイント）となった。一方、3月の雇用保険受給者実人員は5,882人（前年同月比△1.4%）で前年を下回った。

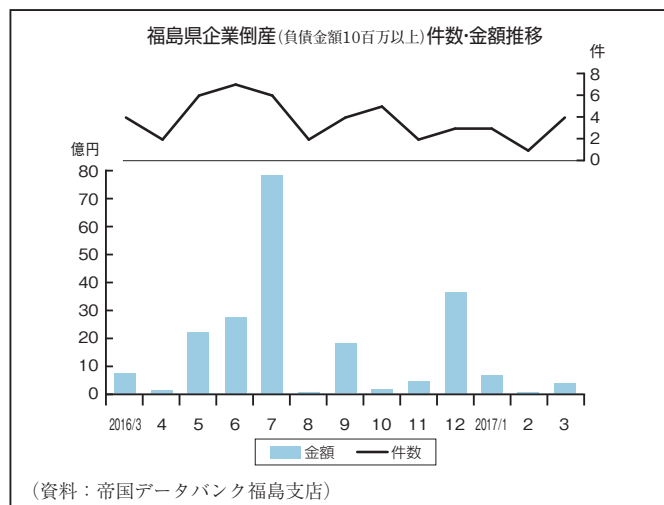


（資料：福島労働局職業安定部）

企業倒産

企業倒産：金額は前年比減

3月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が4件（前年同月比±0%）、負債総額が3億70百万円（同△49.2%）と、金額は前年を下回った。業種別では、建設関連、小売業、サービス業、その他でそれぞれ1件ずつとなった。

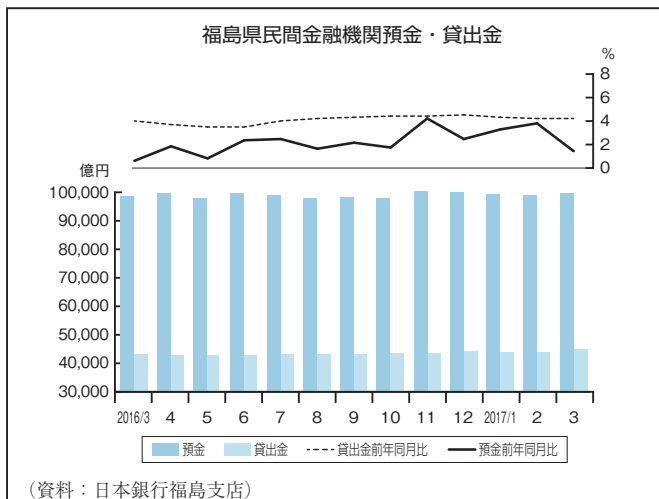


（資料：帝国データバンク福島支店）

金融動向

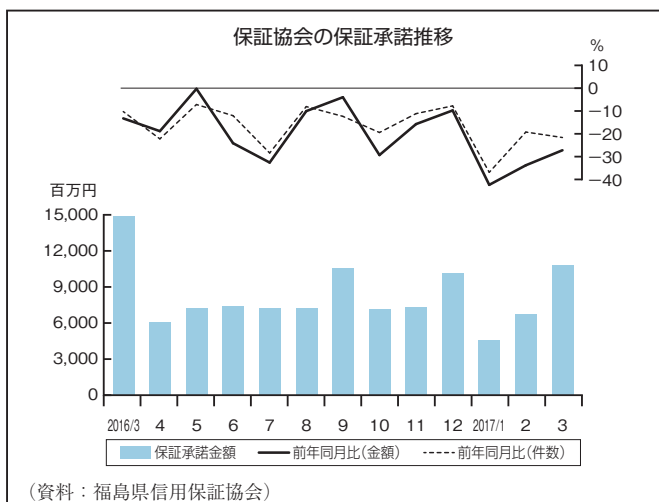
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の3月末の預金残高は、10兆106億円（前年同月比+1.4%）と10年1カ月連続、貸出金残高は、4兆4,864億円（同+4.1%）と3年10カ月連続で前年を上回った。



保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比減

3月の保証承諾は、件数が876件（前年同月比△21.7%）、保証金額が107億77百万円（同△27.3%）となった。また、3月末日現在の保証債務残高は、件数36,968件（同△10.8%）、金額3,193億74百万円（同△12.1%）となった。一方、3月中の代位弁済は、件数が48件（同△31.4%）、金額が2億65百万円（同△68.1%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

家電量販店 3月の家電量販店の売上高は、白物家電で洗濯機が販売単価の上昇もあり前年をやや上回り、パソコンもノート型を中心に前年比増加するなど、合計で前年を5%ほど上回った。売れ筋商品としては、サイクロン掃除機の販売が伸びている。

ホームセンター 3月のホームセンターの売上高は、園芸やエクステリアなどで前年を下回ったものの、作業用品や日用品などで前年を上回ったこ

とから、合計では前年をわずかに上回った。

旅行 3月の旅行取扱額は、国内では個人が県の旅行券事業などにより大幅に増加した前年を大きく下回り、団体を含めた国内合計では前年比で70%ほど減少した。一方、海外では個人が前年を下回ったものの、団体は前年を上回り、合計では前年比で40%ほど増加した。国内の減少により、国内外合計では前年を60%ほど下回る水準となった。

高速道路 3月の県内自動車道出入台数は、合計で5,484,653台（前年同月比△0.0%）と、2カ月連続で前年を下回った。路線別にみると、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は400,517台（同+1.2%）と2カ月ぶり、磐越自動車道（磐梯

熱海 IC～西会津 IC) は563,449台 (同+0.6%) と5カ月ぶりにそれぞれ前年を上回った。一方、東北自動車道 (白河 IC～国見 IC) は2,678,563台 (同△0.3%)、常磐自動車道 (いわき勿来 IC～新地 IC) は1,842,124台 (同△0.1%) といずれも2カ月連続で前年を下回った。

福島空港 3月の福島空港国内定期路線の利用状況は、19,566人 (前年同月比△2.6%) と5カ月連続で前年を下回った。路線別にみると、札幌便は4,558人 (同△14.1%)、大阪便は15,008人 (同+1.6%) となった。(国際定期路線は全便運休)

生産活動

※企業ヒアリング等による結果

化学 3月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材向けなどを中心にフル稼働を続けており、前年並みの堅調な生産を維持している。

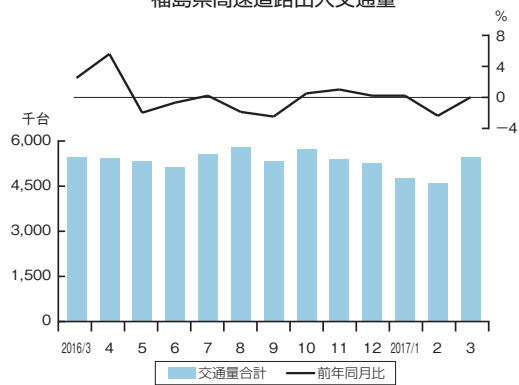
鉄鋼・金属 3月の伸銅品の生産は、半導体向け電子材が半導体需要の回復により前年を40%以上上回り、自動車向け端子材も国内外からの受注増などから前年を20%ほど上回った。3月の建機用鋳造品は、中国からの受注が好調に推移し、合計で前年を60%ほど上回る生産となった。3月の鋳鋼品の生産は、船用部品、陸船用バルブがともに前年を下回り、合計でも前年を10%ほど下回った。

輸送用機械 3月の自動車用鋳造品は、トラック用で国内向けの受注が伸びたことなどから、合計で前年を10%程度上回る生産となった。また、オイルシールは、国内外の自動車向けの受注増などから、全体では計画を上回る生産水準を維持している。

電気機械 3月の電気機械の生産は、配電盤が前年を大きく上回ったものの、変圧器やモータなどが前年を下回ったことから、合計では前年を10%ほど下回った。

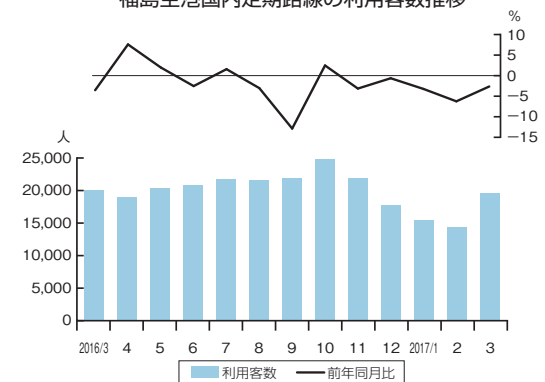
情報通信機械 3月の情報通信機械の生産は、国外向けマイクロ波通信装置 (携帯電話の中継局) が前年を上回ったものの、国内向けモバイル基地局が前年を下回ったことから、合計では前年比で

福島県高速道路出入交通量



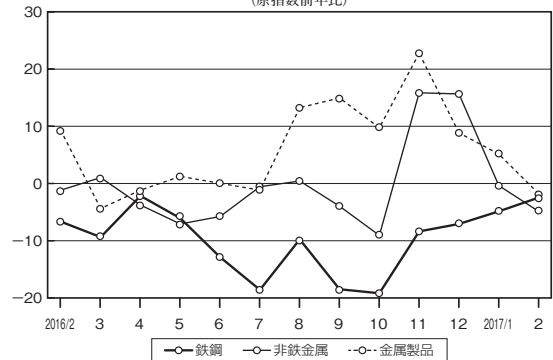
(資料：東日本高速道路(株)東北支社)

福島空港国内定期路線の利用客数推移



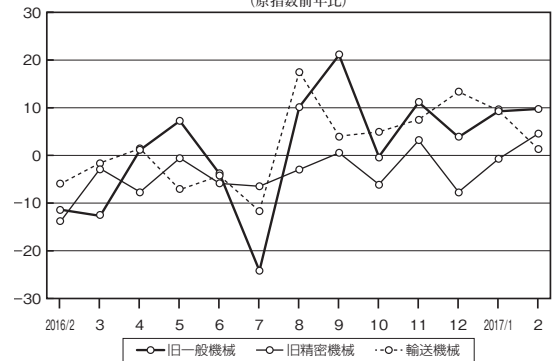
(資料：福島県商工労働部空港交流課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その1)
(原指数前年比)



(資料：福島県企画調整部統計課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その2)
(原指数前年比)



(資料：福島県企画調整部統計課)

3割ほど減少した。

電子部品・デバイス 3月のLSI（大規模集積回路）の生産は、需要の回復傾向が続いていることから、前年を20%程度上回る水準となった。

精密機械 3月の医療用内視鏡は、国内外とも受注量が増加し、合計では前年を5%ほど上回る生産となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内外の受注量がほぼ前年並みで推移し、全体では前年をやや上回る生産水準となっている。

窯業・土石 3月の生コンクリート出荷量は、全体で149,186m³（前年同月比△6.5%）と13カ月連続で前年を下回った。地区別、民需・官公需別にみると、民需で前年を上回ったのは大規模商業施設建設中のいわき地区のみで、全体では同△8.3%となった。また、官公需は県北・県中・白河地区で前年を上回ったものの、全体では同△18.9%となった。

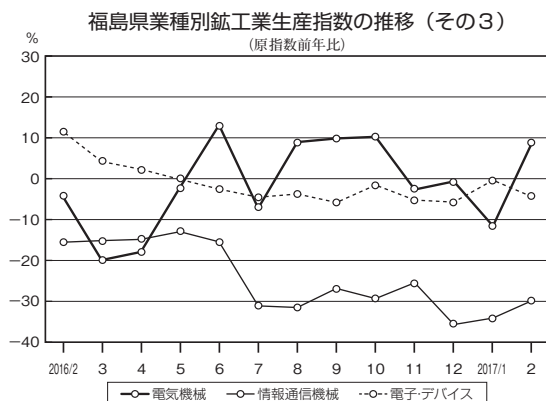
紙・紙加工品 3月の製紙の生産は、OEM 関連で前年を上回ったが、ノーカーボン紙が減少基調、感熱紙も前年を下回ったことなどから、合計では前年を5%ほど下回った。

清酒 3月の清酒移出数量は、1,157kL（前年同月比△4.5%）と4カ月連続で前年を下回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が585kL（同△6.7%）と7カ月連続、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が572kL（同△2.2%）と4カ月連続でそれぞれ前年を下回った。旅館等における宴会の減少、居酒屋利用客数の伸び悩みなど、清酒の消費回復には厳しい状況が続く。

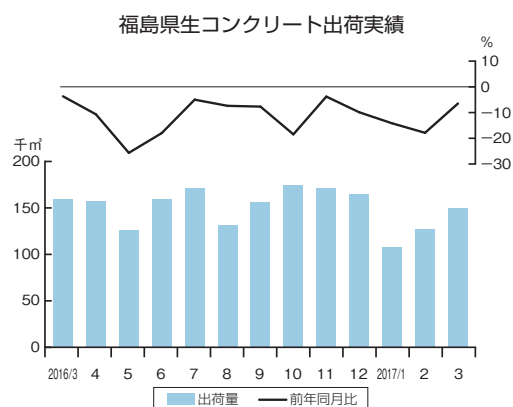
化合繊維物 3月の化合繊維物は、単価は横ばいながら設備入替に伴う生産量の減少があり、生産額では前年を20%ほど下回った。

ニット 3月のニットは、春夏物製品の受注量が前年を下回ったことから、生産額も前年を約10%下回った。

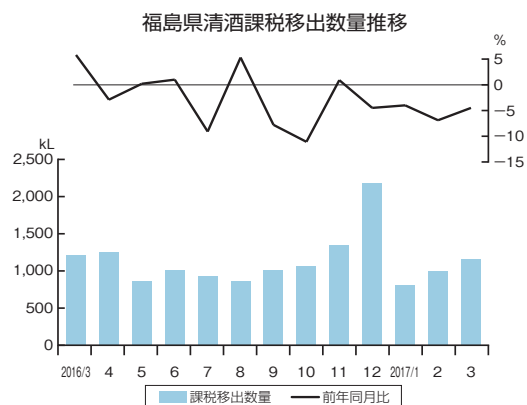
電灯電力 3月の電灯電力販売量は、1,273百万kWh（前年同月比△0.7%）となり、3カ月連続で前年を下回った。



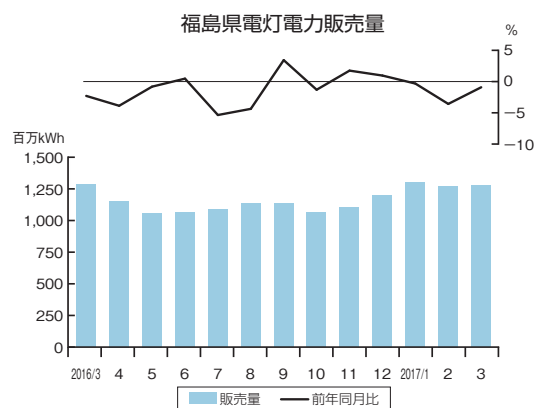
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)